

# 情報誌 たかぎ

ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス [info@vill.takagi.nagano.jp](mailto:info@vill.takagi.nagano.jp)



## 健康ウォーキング in 茶臼山

10月29日(日) 秋晴れの中、村内外から90名の参加をいただき

加々須・茶臼山公園から運動公園まで、4.6kmを楽しく歩くことができました

### 今月号の主な内容

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| ■ 広報たかぎ                | ■ 健康アップPPK        |
| ・17国勢調査……………2          | ・健康づくり講演会……………12  |
| ・旧中跡地の再利用……………3        | ■ 学校だより           |
| ・4月から納税方法が変わります……………3  | ・中学校……………13       |
| ・高齢者の消費者トラブル……………4     | ■ 交流センター便り……………14 |
| ・総合文化祭……………6           | ■ ひなたぼっこ……………15   |
| ・村に寄せる作文コンクール……………8～11 | ■ オフトークたかぎ……………16 |

2006  
**12**  
December



村の人口 6,811人(±0)  
男 3,300人(-2)  
女 3,511人(+2)  
世帯数 2,054戸(+3)  
(平成18年11月1日現在)

# 旧中跡地の再利用

## 研究委員12名で 来年2月目指し検討

村長の諮問機関として発足した旧中校舎等周辺整備研究委員会は十一月六日第一回の委員会を開催した。村長より十二名の委員に委嘱状が渡された後、正副会長の互選が行われ会長に区長代表の萩原順治さんが、副会長に旧中を考える会の横前修さんが選出されました。事務局から経過報告、現状と課題、そして旧中を考える会から昨年村への提言として提出された、旧中跡地の提言書の説明がありました。その後質疑応答があり、これからの方向について意見交換をおこないました。その結果、原則として月二回の開催、そして来年二月中頃までに旧中跡地の方向性を村に提言してもらおうことになりました。



研究委員のみなさんは次のとおりです。

所属および役職	氏名
議会	北澤 光昭
区長会	木下 寿雄
教育委員会	萩原 順治
社会教育委員会	原 俊恵
公民館長	奥村 茂実
体育協会	後藤 和彦
阿島区	池田 幸弘
小川区	佐藤 守弘
旧中跡地を考える会	横前 修

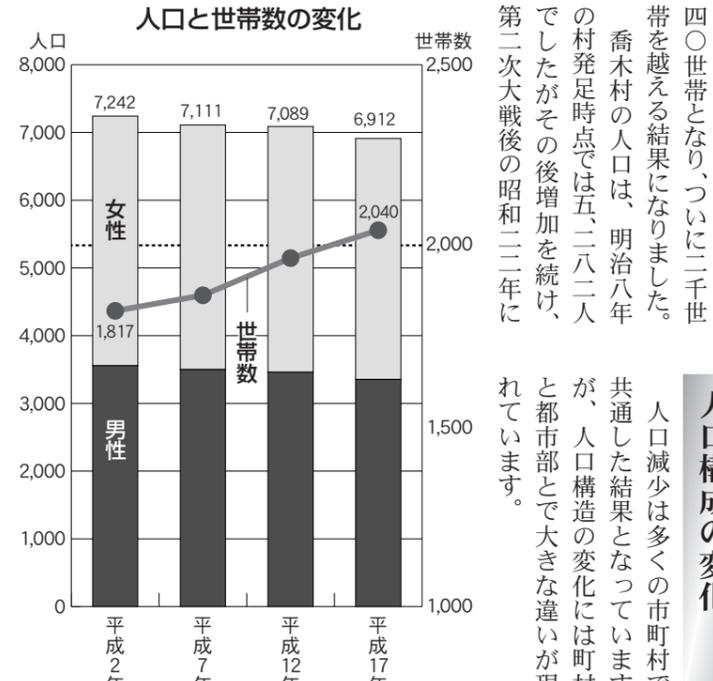
# 村人口が七、〇〇〇人割れ

## 17国勢調査 六、九二二人 (12国調から)

### 世帯数は初の二千世帯超

昨年十月に行われた国勢調査の結果が公表され、喬木村の人口が七千人を割り込み、六、九二二人になったことが分かりました。五年前の平成十二年の国勢調査と比べ一七七人、二・五%の減少となりましたが、世帯数は増加し二、〇四〇世帯となり、ついに二千世帯を越える結果になりました。

一〇、二〇四人とピークを迎えました。その後人口は減少に転じ、昭和四〇年代に七千人台となつて以来四〇年近く、七千人の規模を維持してきましたが、昨年の国勢調査で七千人を割り込む結果になりました。

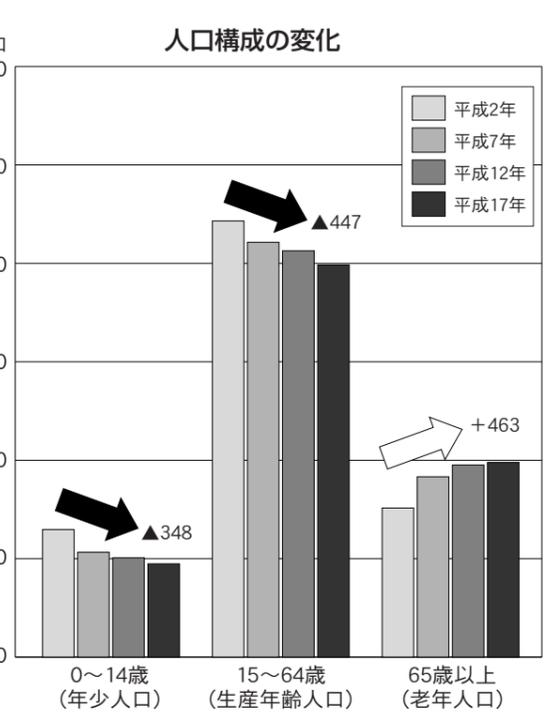


喬木村の人口は、明治八年の村発足時点では五、二八二人でしたがその後増加を続け、第二次大戦後の昭和二二年に

人口減少は多くの市町村で共通した結果となつていますが、人口構造の変化には町村と都市部とで大きな違いが現れています。

### 人口構成の変化

〇歳から十四歳までの年少人口は喬木村では九四八人(十三・七%)と県内市平均四・六%に比べ大きな違いがあります。四・六%に比べ大きな違いは四歳までの生産年齢人口では五七・六%(県内市平均六二・七%)、六五歳以上の老年人口では二八・六%(同二二・六%)と働き世代が少なく高齢者が多いといった特徴が現れています。しかし、喬木村における老年人口の増加率の伸びは縮小の傾向が見られ、団塊世代の高齢化問題は地方の町村より都市部の方がより大きな問題として捉えられていることにつながります。



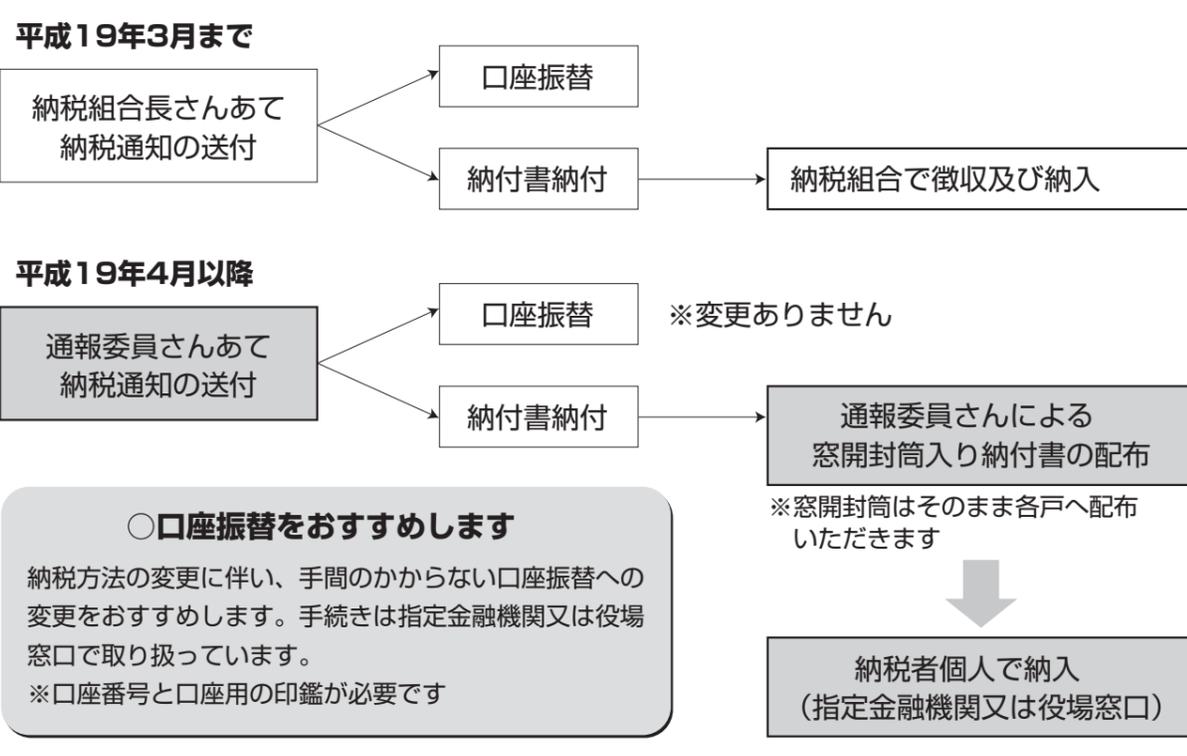
### 今後の課題

先月号でもふれましたが、喬木村が人口七千人規模の村を維持し、生産年齢人口を少しでも増やして行くには、この地域に住み続けることができるよう経済基盤の確立が求められています。今後、地方分権が進められれば、地域の経済が地域を支える重要な要素となることから、人口増対策はこの地域の大きな課題として考えていく必要があります。

## 来年4月から 納税方法が変わります

### 組合徴収を廃止し、すべて個人納入に

村では、これまで口座振替での納付をされない方の税金や上下水道料などの利用料の徴収及び納入を、各通報区の納税組合長さんをお願いしてきましたが、個人情報保護等の課題に対応するため、来年4月からの徴収方法を廃止します。4月以降は、納税組合長を廃止し、組長さんによる納付書の配布をお願いしますが、納入は全て個人毎に行っていただくこととなります。



# 11月は 全国青少年健全育成 強調月間 です

青少年健全育成に対する理解を深め、地域ぐるみで青少年にとってより良い環境づくりに取り組みましょう。

「全国青少年健全育成強化月間」においては、地域ぐるみで、青少年にとってよりよい環境づくりに取り組むため、家庭、学校、職場、地域及び関係機関・団体が一体となった「ひまわりっ子育て県民運動」を一層強化し、取組の定着を図ります。

## 1. 青少年の悩みごと相談関係機関窓口のご案内（通年開設しています。）

家庭児童相談員

下伊那福祉事務所（電話：0265-53-0412）

飯田市子育て支援室（電話：0265-22-4511 内線5301）

受付時間：月～金曜日、午前8時30分～午後5時（通年）

相談項目	担当機関	電話番号	相談内容
青少年 悩みごと相談	下伊那地方事務所福祉課	0265-53-0412	家庭・学校のこと、就職問題、友達や遊びのことなど
子ども なんでも相談			
健康に ついての悩み	飯田保健所	0265-53-0444	心身の健康に関する不安、シンナー・薬物中毒など
児童 悩みごと相談	飯田児童相談所	0265-25-8300	心身の健康、家庭・学校のこと、なんでも
学校に 関わる相談	飯田教育事務所	0265-53-0462	不登校、いじめ、勉強のことなど
いじめ等 の悩み	飯田警察署生活安全課 阿南警察署生活安全・刑事課	0265-22-0110 (内233) 0260-25-0110 (内261)	いじめ、暴力、交友関係等

電話相談受付時間（通年開設、月～金曜日 午前8時30分～午後5時）

## 2. 有害自動販売機の設置契約に注意しましょう！



青少年のための環境浄化活動を地域の大人が責任をもって実施していただくよう、各地区で有害自動販売機NO運動を実践いただくなど、積極的な活動をお願いします。

11月の「全国青少年健全育成強調月間」に併せて、各地区のパトロール、点検等をお願いします。特に、幹線道路沿いの空き地が標的になることが多いので重点的に点検、注意喚起をお願いします。

## 年金相談の 時間延長について

11月は「年金月間」です。  
飯田社会保険事務所では、11月と12月に通常の平日 午前8時30分から午後5時15分の年金相談に加え、以下の日程で年金相談を行います。

相談に行かれる場合には、年金手帳又は年金証書と印鑑をお持ち頂くようお願いいたします。また、代理の方が相談される場合は委任状も必要となります。

記

### 11月の時間延長

・11月27日(月) 午後7時まで

### 12月の時間延長

- ・12月4日(月) 午後7時まで
- ・12月11日(月) 〃
- ・12月9日(土) 午前9時30分～午後4時
- ・12月10日(日) 〃
- ・12月18日(月) 午後7時まで
- ・12月25日(月) 〃

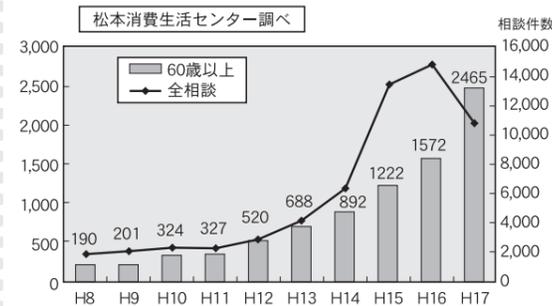
### お問い合わせは

飯田市宮の前4381の3  
飯田社会保険事務所  
年金相談センター ☎52-6541

相談事例  
業者が無料で点検に来たと

心の隙間をつく  
悪質業者に「用心

高齢者からの相談の状況  
日中の在宅率の高い高齢者からの訪問販売に関する相談が増加しています。「一度契約したものは支払うしかない」と思いこんでしまったり、本人に十分な判断能力がなかったりすることが原因です。



高齢者の消費者トラブルが増加しています

「無料点検」などと言って販売目的を隠して訪問し、点検の後で「床下が腐っている」「こんな布団では病気が治らない」といって依頼したところ「柱が腐ってきているからすぐに工事しないと家が倒れる」と言うので、心配になり床下工事を依頼した。ところが工事は一日で終わり、工事内容もたいしたことがないような気がするが、高額な金額を請求されている。本当に必要な工事だったのか不審になっている。工事は済んでいるが今からでも解約できないか？

### アドバイス

- 一、「無料で点検」などと言って販売目的を隠して訪問し、点検の後で「床下が腐っている」「こんな布団では病気が治らない」といって依頼したところ「柱が腐ってきているからすぐに工事しないと家が倒れる」と言うので、心配になり床下工事を依頼した。ところが工事は一日で終わり、工事内容もたいしたことがないような気がするが、高額な金額を請求されている。本当に必要な工事だったのか不審になっている。工事は済んでいるが今からでも解約できないか？
- 二、「〇〇協会」「水道局のほうから来ました」などと、あたかも公的機関を装い訪問する機会が多くあります。公的機関が工事を請負ったり、商品を買っていることはありません。
- 三、「格安キャンペーンは今日まで」などと言われても、その場で契約することは避けましょう。複数の他の業者からも見積りを取り、必要な工事なのか十分検討しましょう。
- 四、「〇〇工事一式」といった見積書しか渡さない業者は、特に注意しましょう。
- もし契約してしまっても「クーリング・オフ」ができます。訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合は、契約書面を受け取った日から八日以内であれば、クーリング・オフ（無条件で契約を解除）がで

### 十二月の結婚相談日

十二月九日 土曜日  
午後七時～  
午後八時三十分  
喬木村老人福祉センター  
第一会議室  
※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。  
お問い合わせ  
喬木村役場  
住民課福祉係  
担当：市瀬  
電話：3315123

地域ぐるみでトラブルを未然防止!!

家族だけでなく、地域の高齢者と日常接する方の心がけが、高齢者を被害から守ります。はつきり断ることの大切さ、困った時は相談する場所があることを高齢者に伝えましょう。

平成18年度

# 喬木村総合文化祭

## 喬木村の「たから」探し

「ここに喜すみんなの「ちから」を見つめ直そう」

十一月十一・十二日の両日、喬木村総合文化祭委が役場前広場を中心に開催されました。十一日はあいにくの天候となりましたが、総合表彰式や阿島寺の前の新しくなった屋台の披露などが行われました。十二日は爽やかな好天に恵まれ、花舞台での芸能大会の他たくさんの方の催しに大勢の皆さんが訪れ、秋の一日を楽しみました。



12日(日)は好天に恵まれ、大勢の皆さんに来ていただきました

# 文化祭に合せ 総合表彰式が行われました



総合表彰式で受賞された皆さん

### ●表彰状

宮下 敬 様  
教育委員、教育長として

て二期八年活動  
阿島大藤保存会

代表 市橋 薫 様  
昭和6年以来、阿島大藤の保存、発展に尽力

村長賞 元島 瑞穂 様  
優秀賞 鈴木 裕一 様  
佳作 小原 知恵 様

市瀬 大樹 様  
中塚 琴美 様  
木下 佐英子 様

村長賞 溝呂木 悠人 様  
優秀賞 黒沢 結衣 様  
佳作 川原 茜 様

宮田 巴都樹 様

花壇コンクール表彰  
(公共の部)  
最優秀賞 堰下 浄化センター 様

優秀賞 喬木第二小学校 様

努力賞 喬木中央保育園 様

最優秀賞 富田老人クラブ 様

(二般の部)  
最優秀賞

富田老人クラブ 様

努力賞

喬木中央保育園 様

最優秀賞

富田老人クラブ 様

### ●村に寄せる作文コンクール表彰

(小学生の部)  
村長賞 元島 瑞穂 様

優秀賞 鈴木 裕一 様  
佳作 小原 知恵 様

中塚 琴美 様  
市瀬 大樹 様  
木下 佐英子 様

(中学生の部)  
村長賞 溝呂木 悠人 様

優秀賞 黒沢 結衣 様  
佳作 川原 茜 様

宮田 巴都樹 様

花壇コンクール表彰  
(公共の部)  
最優秀賞 堰下 浄化センター 様

優秀賞 喬木第二小学校 様

努力賞 喬木中央保育園 様

最優秀賞 富田老人クラブ 様

(二般の部)  
最優秀賞

富田老人クラブ 様

努力賞

喬木中央保育園 様



花舞台では今年も賑やかに芸能大会が開催されました



新しくなった寺の前(天羅)の囃子屋台



子供劇場の手作りイベント



図書館お楽しみ会と社協ふれあいランド共催の人形劇

### 喬木村消費者の会

## 風呂敷の使い方を 展示しました

レジ袋は年間約三百億枚(一人三百枚)が使用され、全国で年間約六十万トンの原油が使用されています。各地区のスーパー等では、買い物の際に、レジ袋不要のカードを使用できるなど、レジ袋を使用しないための取り組みが進んできており、レジ袋の有料化という話もあります。

最近、見直されてきている「風呂敷」について、喬木村総合文化祭において、風呂敷の様々な使い方について、展示を行いました。また、小池前環境大臣が作成した「もったいないふろしき」も展示し、物を大切にすることを文化の一端を垣間見ることができました。

皆さんも、環境のためにまず身の回りからできることからとして、風呂敷を使ってみませんか。



消費者の会

### ●満88歳(米寿の祝)表彰

市瀬美枝子 様 下岡 フミ 様

仲田アサヨ 様 東原コトエ 様

木下 郁夫 様 市瀬 ミツ 様

松島 文子 様 市瀬 八郎 様

市瀬 敬一 様 下岡 登代 様

木下 久子 様 原 さき子 様

田中 ウメ 様 林 ふみ 様

松島 實春 様 森 ヤチヨ 様

木下 正三 様 牧内 隆 様

北島 義子 様 小池 秀美 様

森山 フミ 様 小池みと子 様

萩原 嘉通 様 牧内ひさへ 様

宮下 さかゑ 様 羽生 艶子 様

篠田 金吾 様

伝達表彰  
法務大臣表彰

永井 宗寿 様  
永年にわたり、保護司として改善正に尽力

長野県教育委員会表彰  
喬木村学校共同調理場  
安心安全な学校給食推進の実績

長野県市町村教育委員会  
連絡協議会表彰  
木下 俊佐 様  
木林 睦枝 様  
永年にわたり、教育委員として教育振興に尽力

校に多額の浄財を寄贈  
吉津 英男 様  
社会福祉資金として、多額の浄財を寄贈

伊久間大洞花壇 様  
大島公民館 様  
努力賞 南公民館 様

一期屋 様  
一期屋 様  
一期屋 様

# 第9回 村に寄せる 作文コンクール 受賞作品

## 小学生の部 村長賞

### テレビを使おう

喬木第二小学校 六年 元島 瑞穂



私が住んでいるのは、喬木村のはしにある地区、氏乗です。氏乗は本当に人口が少なく、お金もないけれど、みんなやさしく気軽に声がかげられる人たちばかりです。でも、人口が少ない、それが一番の問題です。そして、子どもも少ないのです。だから、やはり祭りも「今年で花火は終わりがもしれないな」とお父さんが言っていました。

お金がないから、どうにか人口を増やそうと「田舎道」を作りました。最初のうちは、人もけっこう来ていたけれど、今はあまり来ていないような気がします。でも、私はずっとこの氏乗にいたいと思っています。

その一つの理由は、かごよけのたきです。あそこの凍った時の姿は、なんとも言えないくらいキレイで、氷のすきまは青く凍っていない時の倍の大きさにも見えますし、寒さを乗りこえていくと感動が倍になるほどです。

二つ目の理由は、村花である九輪草です。九輪草は満開になると九十九谷に花のジュータンができたよう、ととてもキレイです。私は今年も行きました。そして、係の人が一生懸命草とりをしてくれていました。村花をみんな大切にしているんだなとつくづく思いました。

そして三つ目の理由は、椋図書館です。私は自然が大好きです。木登りしたり竹を切ったり弓を作ったり草むらで寝たりしています。それは喬木村だけでなくほかの村

にも共通するけど、椋先生の作品の数々を見ると氏乗だけが自然豊かだと思っていた私にとって、本当にこんな事があったの、こんな所があるんだ、いつか行ってみたい、と驚いたり、ハラハラしたり、ふしぎな世界に入っている、その本をタダで借りられるととてもいい所です。そんな数々のいいもの、すてきなものがみちあふれています。

私は、どうしたらたくさんお金がたまるか考えました。そして思いついたのはテレビ効果の利用です。この前氏乗のブルーベリーがりがテレビに映った時そのテレビを見ていた人がわざわざ愛知県や岐阜県から来てくれたのです。だからテレビ効果はとっても高いことがわかりました。CM一つで何万円もかかるけど、その効果をうまく利用すればお金が集まると思っています。例えばかごよけのたきのでんねん水を作って、テレビでながせばきっとたくさんのお金を買ってくれると思います。

そういうようなことをしつつ森を守りたいです。ここを町にはしたくありません。ここは森を残しつつ家を作り人を呼び人口をふやしていきたいそんなふうに私は思っています。



## 小学生の部 優秀賞

### ぼくの考える喬木村

喬木第一小学校 五年 鈴木 裕一



ぼくは、喬木村が好きです。なぜ好きかと言うと、自然がいっぱい、カブトムシとか、クワガタとか、せみとか、カマキリとかと遊べることもか、めずらしい石をさがしに川原に行くことができることです。

ぼくは、よく石さがしをするので、夏休みの自由研究は石のことをしました。石の研究を進めていたら、日本でも、二十か所しかない石、きく目石が、長野県、下いな郡、大島にありました。きく目石の所の名前は、球じょう花こう岩と言う名前、大正十二年に長野県の天然記念物に指定された石のことを知りました。このように喬木村にはすばらしいものがたくさんあると思います。

ただ他の村や町にくらべても人口が少ないと思いません。みんなが喬木村のことを好きになってもらうには、み力ある喬木村をめざさないとけないと思います。そのためにもぼくが考えたことが三つあります。

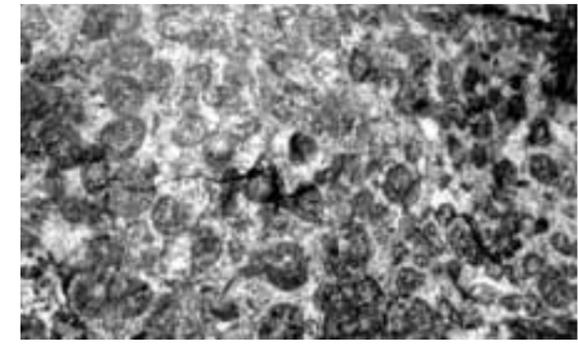
一つ目は、もつと農産物を工夫した方がいいと思いません。例えば、イチゴで喬木村は有名になりました。キュウリとか、ももとか、トマトとか、みかんとかももつとアピールするのいいと思います。ほかの町や、村の人が食べたいと思う、あまいトマトや、おいしいキュウリや、あまずっぱいみかんをつくってせん伝するのいいと思います。

二つ目は、勉強したり、遊んだりする所を作るのいい

と思います。例えば、ぼくの好きな石の博物館や、名古屋にあるような大きい化学館や、たんけんできるようなおしろがあるのいいと思います。ぼくは、よく名古屋の化学博物館に行きます。そこには、ミニズトンネルとか、プラネタリウムとかがあります。そのような、おもしろい化学博物館ができるの毎日楽しいです。たんけんできるおしろを作ることいいと思います。まず、からくり屋敷みたいにおしろの中でも遊べて、おしろの外でも、アスレチックができるようなおしろを作るといいと思います。

三つ目は、働く場所をつくれればいいと思います。石を使って何かを作る工場とか、リサイクル工場をつくるのか、車をつくる工場とか、病院とか、図書館とかをつくれればたくさんの方が働くことができます。そうすれば、喬木村に住んでみたいなあと思う人が、たくさんふえるのではないのでしょうか。

今の喬木村が、もつとすばらしい喬木村になるように、ぼくも村民の一員として、がんばっていききたいです。



## 中学生の部 村長賞

### 農家の方々の話を聞いて

喬木中学校 二年 溝呂木 悠人



僕は今まで「喬木村」についてあまり考えてみたことがありませんでした。けれど学校で農業体験学習をしてみても、この自分の住んでいる村について少し関心がわきました。農家の方々の話を聞いて、大変だなあと思ったことがいくつもありました。

一つ目は農業はとても自然に左右されやすいということです。例えば雨が降った時はどうでしょう。会社なら雨が降っても何も支障はありません。しかし農業は仕事もできないし農作物も雨が降り続けば腐ってしまいます。そんな中で農業を営んでいくのはとても大変なことなんです。

二つ目は、後継ぎがないということです。今、若い人達は、農業をしようとする人がとても少なくなっています。これでは農家が減っていき、近い未来消滅してしまってしまう。農業がなくなれば野菜が作れなくなってしまう。今、学校でも給食に地域の方々で作ってくれた野菜が出ますが、そうした物もなくなってしまうのです。村の野菜がなくなってしまうのはとても悲しいことです。

喬木村ではみかん以外ならほとんどの野菜、果物ができるそうです。色々な物が作れてしまうなんてすごいなあと思いました。喬木はとても農業にむいているんだと思いました。



## 中学生の部 優秀賞

### かかわりのある喬木村に

喬木中学校 二年 黒沢 結衣



私の住んでいる喬木村は運動公園や図書館などのいろいろな設備があり、穏やかで住みやすい場所だと思います。でも喬木村では人とかかわりをもつという事が少ないのではと思います。こんなふうに思ったきっかけは学校で行なわれた農業体験学習でした。私はこの体験を通していろいろな人とかかわりをもつことができたのです。

私は氏乗にあるアグリパーク雨沢という所へ体験に行きました。私は三回目とも同じ農家へ行きました。一回目は、栗の木の周りの草取りをしました。栗の木に栄養がいなくなってしまうからです。二回目はおがくずを運んでブルーベリーの木の横に敷き詰めました。これは草の成長を止めるためです。そして最後の三回目は、ずっと世話をしてきたブルーベリーの収穫をしました。パツクにブルーベリーをふたが浮かない程度に詰めました。途中でブルーベリーを食べたら、りんごのような味でおいしくて止まらなくなっていました。農家の方といっしました。本当に甘くて大きい実でした。農家の方といっしよに、私たちみんなで作ったブルーベリー。大きくなって本当によかったと思います。このようにみんなで作業をすることで農家の方とかかわりをもつことができたのです。そして、体験の最後には「もつとやりたかった」、「もつともつとやってみよう」という気持ちが生まれました。また、ある日テレビをつける喬木村のことをニュースでやっていて、「アグリパーク雨沢」と出ていました。あつと思ひ、早速母に報告しました。私たちがお世話になった農家の方が写っていて、ブルーベリーの紹介をし



ていました。たくさんの方々が来ていることを知って、私もとてもうれしくなりました。

体験を通して農業の楽しさを知ってからは、私はそのことを友達や家族に話をするようになったり、今までは気にならなかったブルーベリー園のことが気になったり、心配したりするようになる変化がありました。

農業体験が終了した後、農家の方がたくさんブルーベリーを届けて下さいました。私は届けて下さったお礼やブルーベリーの様子をうかがったり、暑い中農業をしている農家の方の体調を気づかう手紙を書きました。たった三回の体験で、農家の方や農業について、こんなにかかわることができました。このような体験をしたことで心が温かくなった気がします。それに、いつまでもこのかかわりは続くと思うのです。私はみなさんに、このような体験をしてほしいです。

多くの人が喬木村の農業を体験する機会をもつことができます。きっと喬木村にとって良いことがあると思うのです。人と人とのつながりが広がります。喬木村はもつと良い村になっていくでしょう。また、興味や関心をもつてと思うのです。私たちは体験の中で、喬木村の農業後継者がいなくて困っているということも知りました。農業に興味をもって農業にとりこんでくれる人がいれば、この問題も解決していくように思います。私がこうしたいことを考えるようになったのも、体験がとても良いものだったからでした。私はこれからも機会を見つけていろいろな体験して、喬木村のためにいろいろと考えていきたいです。